

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2018年度入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等を厳格な成績評価を経てすべて満たし、かつ総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、以下の知識や能力を有し、ビジネスや行政などの様々な領域で活躍できるを判断された学生に対し、学位を授与します。 (1) ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスなどの分野の専門知識 (2) アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識 (3) 上記の知識を実践的、複合的に活用してビジネスの現場における問題を発見、分析し、解決する、あるいは、解決策を提案する能力 (4) 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、広範な視野と教養を身につけるとともに、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの広義の経営学を体系的に修得した有為な人材の育成を目標としています。 そのために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 専門教育科目1 学部共通部門を除き、経営学部学科のそれぞれの基礎を横断的に学修できるようにしています。 (2) 専門教育科目2 広義の経営学をビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの4コースに細分化して科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定め、所属コースに関する専門的な内容を深く、体系的に学修できるようにしています。また、各コースとも専門演習8単位を必修とし、総合力、応用力を養います。さらに、会計ファイナンス学科の科目も柔軟に履修できるようにすることで、アカウンティング等に関するより高度な学修の機会を提供するとともに、学部としての一体感を感じられるよう配慮しています。その他、他学部の科目（一部）も履修可としており、学際的な学修の便宜を図っています。 (3) 共通教育科目 大学における学修・研究に必要な基礎的能力を育み、幅広い視野と豊かな教養を身につけるための科目を、「外国語」「教養・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の領域に分けて配置しています。外国語については、グローバルに活躍できる人材を育むため、第1外国語と第2外国語を必修としています。		

履修モデル	コース	ビジネス・マネジメント
養成する人材像	企業と経営の環境・構造・機能を総合的に理解しうる人材	

		1年次		2年次		3年次		4年次		合計単位									
		第1セメスター	単位	第2セメスター	単位	第3セメスター	単位	第4セメスター	単位		第5セメスター	単位	第6セメスター	単位	第7セメスター	単位	第8セメスター	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1									6	
		Practical English	1	TOEIC I	1														4
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1														
		〇〇語基礎II	1	〇〇語基礎II	1														
	教養・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	教理・情報分野科目	2	教理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									20	
人文分野科目	2	人文分野科目	2	社会分野	2	社会分野	2												
総合を含む5分野のうち1科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2																
体育分野	スポーツ・健康演習	2																2	
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	流通論	2											18	
		会計学入門	2	企業法	2														
		ミクロ経済学	2	経営統計	2														
				マーケティング論	2														
			マクロ経済学	2															
	ビジネス部門				ビジネスエコノミクスI	2	ビジネスエコノミクスII	2	経営立地論I	2	経営立地論II	2							20
					経営史I	2	経営史II	2											
					企業論I	2	企業論II	2											
					コーポレートファイナンス論I	2	コーポレートファイナンス論II	2											
	マネジメント部門				経営戦略論I	2	経営戦略論II	2	人事管理論	2	労使関係論	2							24
					経営管理論I	2	経営管理論II	2	生産管理論I	2	生産管理論II	2							
							経営組織論I	2	経営組織論II	2	会社法II	2							
								会社法I	2										
	流通・マーケティング部門				マーケティングシステム	2												2	
	情報システム部門						情報システム論	2										2	
	国際ビジネス部門							ビジネス英語I	2	ビジネス英語II	2							4	
	演習部門	入門ゼミ	2						外国書講読I	2	外国書講読II	2	専門演習III	2	専門演習IV	2			18
									専門演習I	2	専門演習II	2	卒業論文					4	
他学科科目							会計学基礎理論	2									2		
隣接・関連分野								民法総則I	2									4	
								産業組織論	2										
合計		20		20		21		21		22		14		2			6	126	

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計10外国語 10単位
 (2) 教養・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め教理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 (3) 体育分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 (1) 学部共通部門 10単位
 (2) ビジネス部門 6単位
 (3) マネジメント部門 6単位
 (4) 演習部門 8単位
 (5) 経営学部専門教育科目 34単位
 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2018年度入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等を厳格な成績評価を経てすべて満たし、かつ総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、以下の知識や能力を有し、ビジネスや行政などの様々な領域で活躍できると判断された学生に対し、学位を授与します。 (1) ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスなどの分野の専門知識 (2) アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識 (3) 上記の知識を実践的、複合的に活用してビジネスの現場における問題を発見、分析し、解決する、あるいは、解決策を提案する能力 (4) 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、広範な視野と教養を身につけるとともに、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの広義の経営学を体系的に修得した有為な人材の育成を目標としています。そのために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 専門教育科目1 学部共通部門を設け、経営学部2学科のそれぞれの基礎を横断的に学修できるようにしています。 (2) 専門教育科目2 広義の経営学をビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの4コースに細分化して科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定め、所属コースに関する専門的な内容を深く、体系的に学修できるようにしています。また、各コースとも専門演習8単位を必修とし、総合力、応用力を涵養します。さらに、会計・ファイナンス学科の科目も柔軟に履修できるようにすることで、アカウンティング等に関するより高度な学修の機会を提供するとともに、学部としての一体感を感じられるよう配慮しています。その他、他学部の科目（一部も履修可としており、学際的な学修の便を図っています。 (3) 共通教育科目 大学における学修・研究に必要な基礎的能力を育み、幅広い視野と豊かな教養を身につけるための科目を、「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の領域に分けて配置しています。外国語については、グローバルに活躍できる人材を育むため、第1外国語と第2外国語を必修としています。		

履修モデル	コース	流通・マーケティング
養成する人材像	市場のニーズを捉えるセンスをもち、捉えたニーズを論理的に分析・報告できる人材	

	1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位	
	第1sem	単位	第2sem	単位	第3sem	単位	第4sem	単位	第5sem	単位	第6sem	単位	第7sem	単位	第8sem	単位		
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1								6	
		Practical English	1	TOEIC I	1													
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													
	〇〇語基礎II	1	〇〇語基礎I	1														
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	数理・情報分野科目	2	数理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2							26
人文分野科目	2	人文分野科目	2	社会分野	2	社会分野	2	総合を含む5分野のうち1科目	2									
総合を含む5分野のうち1科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2	総合を含む5分野のうち1科目	2													
体育分野	スポーツ・健康演習	2															2	
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2												18	
		会計学入門	2	企業法	2													
		流通論	2	経営統計	2													
		ミクロ経済学	2	マーケティング論	2													
	流通部門			流通政策論	2	国際流通論	2	物流論	2	小売経営論	2							12
						金融概論	2	ロジスティクス論	2									
	マーケティング部門					消費者行動論 I	2	消費者行動論 II	2	サービス・マーケティング	2	マーケティング・コミュニケーション	2					18
						マーケティング・システム	2	マーケティング戦略論	2	マーケティング・リサーチ	2	環境マーケティング	2					
								国際マーケティング論	2									
	マネジメント部門					経営戦略論 I	2	経営戦略論 II	2	経営組織論 II	2							12
						経営管理論 I	2	経営管理論 II	2									
	演習部門	入門ゼミ	2							外国書講読 I	2	外国書講読 II	2	専門演習 III	2	専門演習 IV	2	18
										専門演習 I	2	専門演習 II	2	卒業論文		4		
	隣接・関連分野					産業組織論	2			民法総則 I	2	民法総則 II	2					10
									企業取引法	2	国際観光学概論	2						
合計		22		22		21		21		20		12		2		6	126	

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 (3) 体育分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 (1) 学部共通部門 10単位
 (2) 流通部門 6単位
 (3) マーケティング部門 8単位
 (4) 演習部門 8単位
 (5) 経営学部専門教育科目 32単位
 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2018年度入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等を厳格な成績評価を経てすべて満たし、かつ総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、以下の知識や能力を有し、ビジネスや行政などの様々な領域で活躍できると判断された学生に対し、学位を授与します。 (1) ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスなどの分野の専門知識 (2) アカウンティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識 (3) 上記の知識を実践的・複合的に活用してビジネスの現場における問題を発見・分析し、解決する、あるいは、解決策を提案する能力 (4) 国際的教養と視野を持ち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、広範な視野と教養を身につけるとともに、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの広義の経営学を体系的に修得した有為な人材の育成を目標としています。そのために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 専門教育科目1 学部共通部門を設け、経営学部2学科のそれぞれの基礎を横断的に学修できるようにしています。 (2) 専門教育科目2 広義の経営学をビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの4コースに細分化して科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定め、所属コースに関する専門的な内容を深く体系的に学修できるようにしています。また、各コースにも専門演習8単位を必修とし、総合力、応用力を養成します。さらに、会計・ファイナンス学科の科目も柔軟に履修できるようにすることで、アカウティング等に関するより高度な学修の機会を提供するとともに、学部としての一体感を醸成し得るよう配慮しています。その他、他学部の科目（一部）も履修可としており、学際的な学修の便宜を図っています。 (3) 共通教育科目 大学における学修・研究に必要な基礎的能力を育み、幅広い視野と豊かな教養を身につけるための科目を、「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の領域に分けて配置しています。外国語については、グローバルに活躍できる人材を育むため、第1外国語と第2外国語を必修としています。		

履修モデル	コース	国際ビジネス
養成する人材像	幅広い教養と経営学の最新の知見、さらに国際的な視野と高度な語学力を身につけ、グローバル社会で活躍できる人材	

	1年次		2年次				3年次				4年次				合計単位			
	第1科目	単位	第2科目	単位	第3科目	単位	第4科目	単位	第5科目	単位	第6科目	単位	第7科目	単位		第8科目	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1								6	
		Practical English	1	TOEIC I	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													4
		〇〇語基礎I	1	〇〇語基礎II	1													
		教理・情報分野科目	2	教理・情報分野科目	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									22
体育分野	スポーツ・健康演習	2															2	
専門教育科目	学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	流通論	2											20
		会計学入門	2	企業法	2													
		ミクロ経済学	2	経営統計	2													
		国際経営論	2	マーケティング論	2													
				マクロ経済学	2													
	国際ビジネス科目					異文化マネジメント	2	国際マーケティング論	2	ビジネス英語 I	2	ビジネス英語 II	2					18
						比較経営史	2	国際ビジネス実践	2			生産システムの国際移転	2					
						国際経済論	2											
						国際流通論	2											
	地域ビジネス部門					アジア企業論	2	アジア経営比較論	2									12
						中国国際経営論	2	アメリカビジネス論	2									
						中国ビジネス論	2	ヨーロッパビジネス論	2									
	マネジメント部門							経営組織論I	2	経営戦略論I	2	経営戦略論II	2					10
										経営管理論I	2	経営管理論II	2					
	マーケティング部門									マーケティング・リサーチ	2							4
										消費者行動I	2							
	演習部門	入門ゼミ	2							外国書講読 I	2	外国書講読 II	2	専門演習 III	2	専門演習 IV	2	18
										専門演習 I	2	専門演習 II	2	卒業論文		4		
隣接・関連分野							中国国際経済論	2	アジア経済関係論	2	グローバル産業社会論	2					12	
									産業組織論	2	国際観光光学概論	2						
合計		22		20		21		21		20		16		2		6	128	

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 (3) 体育分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 (1) 学部共通部門 10単位
 (2) 国際ビジネス部門 8単位
 (3) 地域ビジネス部門 6単位
 (4) 演習部門 8単位
 (5) 経営学部専門教育科目 32単位
 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。

履修モデル（経営学部 経営学科）

【履修モデルとは…】

学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
 学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
 学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	経営学部・経営学科	対象入学年度	2018年度入学生
ディプロマ・ポリシー	経営学部経営学科では、履修規程に定められた科目区分ごとの卒業必要単位数およびコース別の履修要件等を厳格な成績評価を経てすべて満たし、かつ総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、以下の知識や能力を有し、ビジネスや行政などの様々な領域で活躍できると判断された学生に対し、学位を授与します。 (1) ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスなどの分野の専門知識 (2) アカウティング、ファイナンス、ビジネスデザインなどの分野の基礎知識 (3) 上記の知識を実践的、複合的に活用してビジネスの現場における問題を発見、分析し、解決する、あるいは、解決策を提案する能力 (4) 国際的教養と視野をもち、様々な場面で適切なコミュニケーションを取れる能力		
カリキュラム・ポリシー	経営学部経営学科では、広範な視野と教養を身につけるとともに、ビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの広義の経営学を体系的に修得した有為な人材の育成を目標としています。そのために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1) 専門教育科目：学部共通部門を設け、経営学部2学科のそれぞれの基礎を横断的に学修できるようにしています。 (2) 専門教育科目：広義の経営学をビジネス・マネジメント、流通・マーケティング、情報システム、国際ビジネスの4コースに細分化して科目群を配置し、それぞれに必修科目、選択必修科目を定め、所属コースに関する専門的な内容を深く体系的に学修できるようにしています。また、各コースも専門演習8単位を必修とし、総合力、応用力を涵養します。さらに、会計・ファイナンス学科の科目も柔軟に履修できるようにすることで、アカウティング等に関するより高度な学修の機会を提供するとともに、学部としての一貫感を感じられるよう配慮しています。 (3) 共通教育科目：大学における学修・研究に必要な基礎的能力を育み、幅広い視野と豊かな教養を身につけるための科目を、「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の領域に分けて配置しています。外国語については、グローバルに活躍できる人材を育てるため、第1外国語と第2外国語を必修としています。		

履修モデル	コース	情報システム
養成する人材像	経営学に加えて数理・情報系科目を学び、経営学の知識を備えた情報部門担当者や情報技術に長けた人材	

	1年次		2年次				3年次			4年次			合計単位					
	第1学期	単位	第2学期	単位	第3学期	単位	第4学期	単位	第5学期	単位	第6学期	単位		第7学期	単位	第8学期	単位	
共通教育科目	外国語分野	Reading I	1	Reading II	1	Reading III	1	Reading IV	1								6	
		Practical English	1	TOEIC I	1													
		〇〇語入門I	1	〇〇語入門II	1													4
		〇〇語基礎II	1	〇〇語基礎II	1													
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	統計学入門	2	社会分野	2	自然分野科目	2	自然分野科目	2									
		情報リテラシー・入門	1	人文分野科目	2	社会分野	2	人文分野科目	2									
		数理学入門	2	統計学基礎	2	情報と社会	2	総合を含む5分野のうち1科目	2									32
		確率論入門	2	情報リテラシー・応用	1	プログラミング	2	総合を含む5分野のうち1科目	2									
				確率論基礎	2													
	体育分野	スポーツ・健康演習	2															2
学部共通部門	経営学入門	2	ファイナンス論	2	ミクロ経済学	2	マクロ経済学	2	流通論	2								
	会計学入門	2	経営統計	2					国際経営論	2								
	情報システム概論	2	マーケティング論	2														
	情報システム部門			ICTと組織	2	情報システム論	2	オペレーティングシステム論	2	コンピュータネットワーク論	2	コンピュータセキュリティ論	2					
						オペレーションズ・リサーチ	2	情報通信サービスの発展	2	ソフトウェア工学	2							
						経営データ解析I	2	プログラミング論	2	システムデザイン	2							
						プログラミング入門	2	データベース論	2	シミュレーション論	2							
	国際ビジネス部門					社会とデータサイエンス	2	経営データ解析II	2									
										ビジネス英語I	2	ビジネス英語II	2					
										比較経営史	2	国際ビジネス実践	2					8
	演習部門	入門ゼミ	2							外国語講読I	2	外国語講読II	2	専門演習III	2	専門演習IV	2	
										専門演習I	2	専門演習II	2	卒業論文		4		18
	隣接・関連分野									民法総則I	2	民法総則II	2					4
	合計		21		21		21		21		22		12		2		6	126

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
 1 共通教育科目は、次の定めるところにより、合計32単位以上を修得しなければならない。
 (1) 外国語分野 必修外国語として第1外国語6単位、第2外国語4単位、計2か国語 10単位
 (2) 数理・情報、自然、社会、人文分野各4単位計16単位を含め数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から20単位
 (3) 体育分野 2単位
 2 専門教育科目は、次の定めるところにより、合計64単位以上を修得しなければならない。
 (1) 学部共通部門 10単位
 (2) 情報システム部門 16単位
 (3) 演習部門 8単位
 (4) 経営学部専門教育科目 30単位
 3 上記のほか、共通教育科目及び専門教育科目の中から28単位以上を修得しなければならない。